

## スポンジチタン新工場地鎮祭挙行

当社は、2027年度末までの完工を目標としてスポンジチタン新工場建設による能力増強を2024年9月に発表しました。

本計画は、日本政府が定める経済安全保障推進法に基づく特定重要物資の供給確保計画として経済産業省から認定を受けており、約80億の助成金を受け取る予定です。

この度基本設計等の準備も整ったため、6月5日（金）貴布禰神社宮司のもと、スポンジチタン新工場建設の地鎮祭を厳かに執り行い、参列者一同工事の無事完工を祈念しました。



### ＜能力増強の概要＞

生産能力増強規模	： 現行) 4万ト/年→増強後) 5万ト/年 (+1万ト)
投資額	： 約390億円
助成金の額	： 約80億円 (※NEDOの安定供給確保支援基金事業費助成金)
完工	： 2027年度末迄の完工を目標とする



### ＜社長挨拶＞

本日はご多忙の中、当社スポンジチタン新工場建設の地鎮祭にご列席を賜り、誠にありがとうございます。また日頃より当社の生産活動に多大なるご支援ご協力を賜り、この場をお借りしましてあらためて厚く御礼申し上げます。

さて、当社は2024年9月にスポンジチタン生産能力増強計画を発表いたしました。世界での民間航空機の生産・運行機数は中長期的に堅調に増大し、加えて、エンジンのMRO（メンテナンス・リペア・オーバーホール）需要も年々増加成長することが見込まれております。足元では、ボーイング社での品質問題や、航空機サプライチェーンにおける在庫調整の影響を受けておりますが、あくまでもこれらは一過性の問題と認識しており、今後益々チタン需要の拡大が見込まれます。

こうした状況のもと、今後成長を続ける航空・宇宙・防衛産業のマーケットにおけるビジネスチャンスを着実に捉えるべく、経済産業省のご支援を受け、2027年度末の完工に向けて、年産1万トンのスポンジチタンの生産能力増強を意思決定いたしました。

各工程での自動化や省エネ技術の導入により、高い品質競争力とコスト競争力を有する世界最新鋭のスポンジチタン工場を建設することにより、当社チタン事業の更なる成長を果たし、世界No.1のスポンジチタンメーカーとして国際貢献を果たしてまいります。

本日ここに滞りなく地鎮祭を執り行い、いよいよ工事を開始いたします。

今後、施工いただく関係各社様には多大なるご尽力をお願いすることになりますが、安全第一のもと、計画通りの工事完工を心よりお願い申し上げます。私からのご挨拶とさせていただきます。